

かえる便り 28年度7号

平成28年6月3日

初夏の候、皆様にはますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。

『勝負は時の運』 この言葉の意味は一般的に、「勝負の結果はその時の運に左右されるもので、必ずしも強いものが勝つとは限らない」と解釈されます。しかし、私の解釈は違います。つまり、『時の運』を呼び込むためには、優位に立った時に“逸る気持ち”を抑え冷静に与えられた責任を果たし、逆に苦しい時には焦ることなく最後まで諦めないで勝機を窺う努力をするから、運が味方してくれると思っています。最後まで“義” = “人としてすべき正しい事” をしなさいよ！

神は細部に宿る！ 小さなことに目を配り、最後まで妥協しない！



年齢を重ねると若い時と違って、一つの仕事に対して“可能性を信じて取り組む姿勢”に負担を感じます。私自身、この大会に全てをかけていただけに、精神的な面で今後の見通しを立てる気力が起きてきません。自分の気持と素直に向き合い、今後について考えたいと思います。

後期総体が2日から始まり、準々決勝で開星と対戦しました。天候にも恵まれ最高の環境で試合を行いました。残念ながら2対2のPK戦の末敗退しました。得点は素晴らしい形で常にリードしていましたが、2点目の失点は最悪でした。

今回は大会前から決勝を想定しながら、チームを作ってきたつもりです。しかし、油断から予期せぬ形で失点してしまい申し訳なく思います。2点目を決めた後、選手の中に“勝った”という安心感から油断が生じ、笛が鳴るまで与えられた責任を果たすという慎重な行動と責任感が感じられませんでした。本当に残念でなりません。精神面の指導をしてきたつもりですが、私の力不足でした。

多くの皆様にご声援並びに差し入れしていただきありがとうございました。応援してくれた部員の大応援は本当に頼もしく感じました。ありがとうございます。申し訳ない…

益高時代の教え子（二人）からも差し入れを頂きました。本当にありがとうございました。